ROSÉ

富士市発エンターテイメント情報誌　ロゼ

2023 SPRING Vol.123

TAKE FREE 無料

INTERVIEW

松平 健

ROSÉ

富士市文化会館ロゼシアター「情報誌ロゼ」　2023年3月発行（第123号・春号）

■発行／公益財団法人富士市文化振興財団　〒416-0953 静岡県富士市鷹岡町1750番地　TEL:0545-60-2510　■企画・編集・制作／公益財団法人富士市文化振興財団　タイムデザイン

INTERVIEW

松平健

PROFILE

俳優、歌手
1953年生まれ。愛知県豊橋市出身。1975年テレビ時代劇「座頭市物語～心中あいや節～」でデビュー。1978年～2003年まで、主演テレビ時代劇「暴れん坊将軍」シリーズでは、約25年(全832回)にわたって活躍。歌手としては1980年初のアルバム「黎明」を発売。2004年には自身の舞台のフィナーレで歌っていた「マツケンサンバⅡ」がヒットし、歌と踊りで一大ブームを巻き起こし、老若男女を問わず幅広いファン層から支持を集めた。その年の日本レコード大賞特別賞受賞、第55回NHK紅白歌合戦に出場。また2005年には東京ドームでコンサートを行い、2万人以上の観客を沸かせた。2021年東京オリンピックの開会式、閉会式に「マツケンサンバ」待望論が沸き起こり再ブーム到来。再び紅白歌合戦にも特別枠で出場。サンバのほかに「マツケンマンボ」「マツケンマハラジャ」「マツケン・アスレチカ」「マツケンのAWA踊り」等明るく元気な曲を送り続けている。

ロゼシアター on demand

ロゼシアターのさまざまな記録や作品を色々な角度からご覧いただけるコンテンツまたその最新情報をご紹介！

～YouTube vol.6～

2020年にスタートしたYouTube「ロゼシアターチャンネル」では、現在90本を超える動画を公開しています。ロゼシアターの自主事業を代表する市民ミュージカルのほか、市民演奏家によるコンサートやアウトリーチ事業の様子などをお届けしています。

トレインフェスタ

2022年11月投稿

8月27日～28日開催「トレインフェスタ」で出展された鉄道模型などをアップで撮影。ご来場いただけなかった皆様へ、当日の雰囲気をお届けします。

学校コンサートT.J.P.P.A.L

2022年12月～2023年1月投稿

6月から10月にかけて富士市内各地の小学校で開催された「学校コンサート」。出演団体のT.J.P.P.A.Lのパフォーマンスで会場の子どもたちが賑わう様子をご覧いただけます。

チャンネル登録お願いします！！ YouTube「ロゼシアターチャンネル」

俳優でありながら、ステージではキレのあるパフォーマンスで私たちを魅了する松平健さん。紅白歌合戦にも出場し、多くの日本国民が元気をもらったことでしょう。ロゼシアター開館三十周年記念として、今夏にご登場いただくことになりました松平健さんに、公演を前にお話をうかがいました。

二〇〇四年に発売した「マツケンサンバⅡ」の再ブームが来て、昨年はご披露する機会が多かったと思いますが、この楽曲はどのような経緯で生まれたのですか?

私の舞台公演の構成は一部芝居、二部歌謡ショーとなっており、ショーの最後にお客様に笑顔でお帰り頂くために、「松健音頭」、「マツケンマンボ」等を経て、一九九四年から歌っている曲です。

松平さんも、ダンサーの方々の衣装もキラキラ輝いて、歌って踊る華やかな舞台は、見ていてワクワクします。演じている側として、何かご苦労はありませんか?

特に苦労はございませんし、私も楽しんでステージに立たせていただいております。

「マツケンサンバⅡ」の再ブームはSNSの影響が大きいと思います。ご自身もYouTubeやTikTokなどで配信されていますが反響はいかがですか?

若い方の反響が多く、私自身も驚いております。

一九七五年にデビューして、俳優として歌手として、幅広い活動をされていますが、これまで継続してきた事はありますか?

俳優は健康第一ですので、ウォーキングは続けております。また今後も「マツケン」シリーズの曲は歌い続けていきたいと思っております。

デビュー後、勝新太郎さんの事務所に所属して活動されていらっしゃいましたが、今につながる当時の一番の「教え」をよろしければ教えてください。

師匠のお言葉で、「打った矢は努力しないと落ちる。」と言われ、いつも胸に秘めております。

時代劇スターとして知られている松平さんですが、時代劇ならではの良さ、楽しめるポイントなど、見る側の私たちに教えていただけますか?

時代劇は日本の文化です。着物での生活、髪形も町人と武士では違いますし、時代劇特有の人情話が盛り込まれています。

また、お馴染みになりますが最後は立ち回りで悪人を退治してすっきりした気持ちになれるのが魅力かと思います。

三月にはおよそ一ヶ月間の舞台公演がありますね。長期公演は毎日本番があって集中力を持続されるのが大変だと思いますが、どのようにして取り組んでいますか。

やはり健康には十分気を付けています。睡眠、食事、運動に心がけております。

趣味でしていることや、気分転換によくやっていることなどあれば教えてください。

ショッピングや料理をして気分転換しています。

愛知県のご出身ですが、静岡に関係するエピソードなどあれば教えてください。

静岡県は何といいましても「暴れん坊将軍」のタイトルバックの撮影で、富士山をバックに三保の松原で撮影したことをよく覚えております。

最後にメッセージをお願いします。

会場にお越しいただいたお客様に元気をお届けできるよう頑張りますので、是非お越しください!

ありがとうございました。

公演情報

ロゼシアター開館30周年記念

松平健コンサート2023

日　時:2023年7月17日(月・祝)　開場15:30　開演16:00
会　場:富士市文化会館 ロゼシアター　大ホール
入場料:(全席指定・税込)　※未就学児入場不可
1階席／6,600円　2階席／5,500円　学生／1,000円
WEB発売:4月20日(木)10:00～　窓口発売:4月21日(金)10:00～

外山香（とやまかおり）

箏（こと）

〈プロフィール〉

三歳より伯母久松雅和陸に箏曲の手ほどきを受ける。後に、沢井忠夫、川村昌子、中山いずみに師事。聖心女子大学在学中に第30期NHK邦楽技能者育成会を卒業、沢井忠夫合奏団に入団。1989年文化庁芸術家国内研修員修了。1990年、1992年NHK邦楽オーディション合格。日本音楽集団入団（～1992年）。第一回日中伝統音楽交流会にソリストとして参加。1990年第一回リサイタルを行う（以後、2007年第8回まで開催、2005年は静岡音楽館AOI主催による）。1995年タイ・バンコク、1997年ドイツ・カールスルーエにおいてリサイタルを行う。2000年、横浜市港北芸術祭にて宮間利之とニューハードと協演。2002年、横浜市日米協会50周年記念式典にて米軍ジャズバンドと協演。1996年日本クラウンより、2007年邦楽之友社よりソロCDを発売（第62回文化庁芸術祭参加作品）。2007年横浜交響楽団第600回記念演奏会にソリストとして参加。ISCM-ACL合同香港公演に出演。2010年、APECレセプションにて演奏。NHK TV「芸能花舞台」に出演。2011年、2012年、The Swing Herd Orchestraと協演。2012年、神奈川フィルハーモニーの公演にソリストとして参加。2015年より2020年まで中国各地においてリサイタルを行う。

現在、沢井箏曲院教授、沢井忠夫合奏団員。現代邦楽"考"団員。国内外において演奏活動を行う傍ら教授活動を行う。

箏（こと）を古典音楽の演奏だけでなく、現代曲の演奏、バンド、オーケストラとの共演など、洋楽器とのコラボレーションにより楽器の持つ可能性を引き出し活躍している外山香さんにロゼシアターでの公演を前にお話を伺いました。

箏を始めたきっかけ、出会いを教えてください

伯母が箏の先生をしており、お稽古に来ているお弟子さん方の合間に教えてもらったことが始まりです。三歳から箏の稽古を始めたのですが、伯母は教えることに容赦がなくて、その当時は稽古が嫌いでしたね。（笑）

大学で東京に行くことになり、その際、父の知人の紹介で、沢井箏曲院の川村昌子先生から稽古をしていただくことになりました。稽古は、調弦などの基礎から厳しく徹底的に教えていただきました。大学二年生の時にオーディションに受かり、プロの登竜門であるNHK邦楽技能者育成会へ通うことになりました。その他にも多くの審査や試験を紹介いただき、良い成績を収めることができ、大学卒業後には沢井忠夫合奏団員に推薦していただけるなど、川村先生によって、私がこれから進むレールを敷いていただきました。

現在の活動について教えてください

指導者として、自宅で稽古する際は、マンツーマンで丁寧に指導しています。また、私の住んでいる横浜市では、ホール・会館を通じて、プロの演奏家を市内の小学校に派遣する事業があり、児童を対象とした体験や公演を行っています。

先日も小学校で体験学習を行ってきました。四十五分の授業が二コマある時間の中で、楽器の説明、体験をしてもらい、児童が〝さくらさくら〟を一曲弾けるようにする内容です。短い時間で弾けるようになるのは大変で、体験学習を行い始めた当初は手探りで進めていましたが、今では、時間内に全員が一曲弾けるようになって発表会もします。他には、沢井箏曲院の資格審査の審査員を行っています。

演奏家としては、NHK邦楽技能者育成会の卒業生で立ち上げた同窓会のプロのメンバーで、『現代邦楽考』を結成し、現代に作られた曲を後世にも残していく活動をしています。

箏の魅力を教えてください

まずは音色ですね。箏の澄んだ遠くまでとおるような音色が魅力です。

私は、沢井忠夫先生の奏でる音、作った曲が、ラジオで流れているのを聴いて魅力を感じていました。また、先生の生の演奏を聴くとさらに躍動感がありました。沢井忠夫先生の作られた現代曲は、一般の方が聴いても楽しめる曲であり、箏の音色と、音色を活かした曲にとても魅了されました。

箏という楽器は、調弦が難しいと言われています。箏は弾く前にまず調律をするからです。ただ、調弦次第では、順番に弦を弾くと曲ができるようにもできます。私の子どもにも、まず箏に親しんでもらうために、奥から手前に弦を弾いていくと〝カエルの歌〟の曲になるようにしました。調弦次第で多くの可能性があるのも、箏の持つ魅力ですね。

箏の弦の数が異なりますが、それぞれの特徴、違いは何でしょうか

十三弦は、中国から入ってきたそのままの形です。基本的な調律は日本音階（五音）で行います。十七弦は百年くらいの歴史があり、当初は伴奏もできるようにと作られた箏であり、低音が出せるようになっています。二十弦は五十年ほど前に、洋楽の作曲家と箏奏者が考案したもので、十三弦では表現しきれない足りない部分を補えるように作られたもので、ドレミファソラシの七音を奏でることができ、洋楽器とのコラボレーションがしやすくなっています。

どの箏を使うかは、その曲の中で、どれを使用すれば箏が引き立つかなど、場面を考えて合うものを使用しています。

今回の邦楽維新では、場面によって十三弦、十七弦、二十弦を使い分ける予定でいます。

思い出に残っている演奏会を教えてください

二十五歳の時に、初めてソロリサイタルを行ったのですが、四百名程の方が来てくださいました。箏の現代曲を演奏されている方が少なかったので、箏の古典演奏会とは異なる現代曲を聴いていただき、演奏方法についても、正座や着物ではなく、立奏台や洋装などで演奏する事により、より接しやすいところを見ていただけたことで、悦ばしい驚きを感じていただけたお客様の反応が嬉しかったですね。

休みの日はどのように過ごしていますか

仕事も家庭もありますし、子供が通っていた学校の役員も小中高と全部やっていましたので、オフという時間はあまりないのですが、ちょっと時間があいた時とかは、地図を見るのが好きなんです。今ではインターネットを使って外国の街並みを見ることができますよね。

旅行の計画を立てることも好きで、以前、両親の金婚式の記念で、家族で一週間バルセロナに行ったのですが、一年くらいかけて計画しました。

コンサートを心待ちにしている皆様にメッセージをお願いします

本来、日本の楽器は歌舞伎の下座音楽のように音によって情景描写を行う役割がありました。紙媒体よって発表された谷崎の文学を日本の楽器とデーモン閣下の語りによってお楽しみいただきます。更に後半には同じ楽器と同じ奏者によって全く別のカテゴリーの音楽のコラボレーションをお聴きいただきます。日本の楽器がどのように間口が広く変身していくのかをお聴きいただき、体験していただければと思っております。皆様のご来場をお待ちしております。

ありがとうございました

文／渡邉 聡仁
撮影／長橋 睦

公演情報

デーモン閣下の邦楽維新collaboration
～谷崎が描く『官能と耽美』を詠み謳ふ～

日　時：6月24日（土）　開場17:30　開演18:00
会　場：富士市文化会館ロゼシアター　中ホール
入場料：（全席指定・税込）　※未就学児入場不可
一般 6,600円　学生：1,000円

EVENT SCHEDULE 2023 4〜6

イベントスケジュール　2023年4月〜6月
ロゼシアター主催事業のご案内

4月 ロゼこどもスプリングコンサート

日　時：**4月8日(土)**
1回目／開場10:00　開演10:30
2回目／開場12:30　開演13:00
会　場：中ホール
入場料：(全席指定・税込)　均一 500円
※0歳から入場可
※3歳以上有料、2歳以下は保護者1名につき1名までひざ上鑑賞無料

前回の様子

6月 STC presents めざましクラシックス in富士

日　時：**6月4日(日)**
開場15:15　開演16:00
会　場：大ホール
入場料：(全席指定・税込)
1階席：6,600円
2階席：5,500円
学　生：1,000円
※未就学児入場不可

発売日　WEB：3月16日(木)　窓口：3月17日(金)

軽部真一　清塚信也

6月 デーモン閣下の邦楽維新Collaboration

日　時：**6月24日(土)**　**開場17:30　開演18:00**
会　場：中ホール
入場料：(全席指定・税込)
一般 6,600円　学生：1,000円
※未就学児入場不可

発売日　WEB：3月29日(水)
窓　口：3月30日(木)

三橋貴風

福田栄香

外山香

松崎雄一

デーモン閣下

7月 松平健コンサート 2023

日　時：**7月17日(月・祝)**
開場15:30　開演16:00
会　場：大ホール
入場料：(全席指定・税込)
1階席：6,600円
2階席：5,500円
学　生：1,000円
※未就学児入場不可

発売日　WEB：4月20日(木)　窓口：4月21日(金)

7月 ロゼこどもコンサート

日　時：**7月29日(土)**
1回目／開場10:00　開演10:30
2回目／開場12:30　開演13:00
会　場：中ホール
入場料：(全席指定・税込)　均一 500円
※0歳から入場可※3歳以上有料、2歳以下は保護者1名につき1名までひざ上鑑賞無料

発売日　WEB：6月27日(火)　窓口：6月28日(水)

前回の様子

7月 野村萬斎　狂言の夕べ

日　時：**7月31日(月)**
開場18:30　開演19:00
会　場：中ホール
入場料：(全席指定・税込)
1階席：7,700円　2階席：6,600円　学生：1,000円
※未就学児入場不可

発売日　WEB：4月27日(木)　窓口：4月28日(金)

9月 H ZETT M ピアノ独演会 2023 九月 - 富士の陣2-

日　時：**9月2日(土)**
開場16:00　開演17:00
会　場：中ホール
入場料：(全席指定・税込)
一般：5,500円
学生：1,000円
※3歳以下入場不可、
4歳以上要チケット

発売日　WEB：6月8日(木)　窓口：6月9日(金)

10月 チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団

指揮：パーヴォ・ヤルヴィ　ピアノ：ブルース・リウ

日　時：**10月20日(金)　開場18:30　開演19:00**
会　場：大ホール
入場料：(全席指定・税込)
S席：14,000円　A席：12,000円　学生：5,000円
※未就学児入場不可

発売日　WEB：6月21日(水)
窓　口：6月22日(木)

©Gaetan Bally
チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団

©Gaetan Bally
パーヴォ・ヤルヴィ

©Yanzhang
ブルース・リウ

WEB購入手順

1. ロゼシアターホームページ https://rose-theatre.jp（24時間対応）
2. 「ロゼフレンドシップ」へログイン　※チケット購入には「ロゼフレンドシップ」の登録が必要です
3. 公演・座席選択　「座席指定して予約」より座席を選択可能
4. 支払方法・チケット引取方法　選択　クレジットカード決済 ▶ 会館窓口またはセブンイレブン店頭引取が選択可
セブンイレブン支払 ▶ セブンイレブン店頭でチケット引取

※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください　※発売初日は10:00からの販売となります　※「学生券」は25歳以下の学生が対象です　※購入後の変更・キャンセルはできません

※最新情報は、ロゼシアターホームページをご覧いただくか、直接お電話にてお問い合わせください。

シエナ・ウインド・オーケストラ

アンサンブルワークショップ
指導者派遣事業

平成三十年四月、富士市と、公益財団法人富士市文化振興財団（ロゼシアター）と、ジャパン・シンフォニック・ウインズ（シエナ・ウインド・オーケストラ）の三者で、事業提携に係る協定を締結しました。これに基づき、中高生を中心にプロの演奏家と交流する機会をつくり、地域の音楽文化の発展を目的に様々な事業を実施しています。そのなかのアンサンブルワークショップと、三年ぶりに実施した指導者派遣事業についてリポートします。

アンサンブルワークショップ

2022年12月4日（日）
参加／10グループ（5校　56名）
ロゼシアター ホール、練習室等

アンサンブルコンテスト東部地区大会に向けて、審査経験のあるシエナメンバーのアドバイスを受け、レベルアップすることを目的として、今年は10グループが参加しました。
「新しい気づきがあり学ぶことが多かった」「参加してよかった」などの感想が多くありました。

指導者派遣事業

2023年1月28日（土）
富士市立吉原第二中学校 32名
富士市立岳陽中学校 33名

富士市内公立中学校の希望校から、抽選で決まった2校の吹奏楽部にお邪魔しました。11パートのシエナメンバーが各教室に分かれて、楽器の持ち方や呼吸法、練習方法など基礎的なアドバイスを中心におこないました。楽器によっては1対1のレッスンという状況もあり緊張気味の様子でしたが、皆さん真剣に取り組んでいました。「何となくでやっていたことが明確になり、生徒も教師も新しい技術・知識を得ることができました」と顧問の先生から感想をいただきました。
なお財団では、コロナの影響で実施できなかった間にシエナと共同で『吹奏楽部のための教則ＤＶＤ』を制作し、富士・富士宮市内公立中学校へ配布しています。

シエナ・ウインド・オーケストラ

1990年に結成されたプロのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点とし、定期演奏会のほか全国各地で公演や青少年育成事業へ出演、アンサンブルユニットによる公演や吹奏楽クリニック等、年間100回を超える事業を展開している。2002年、首席指揮者に佐渡裕を迎え、毎年全国ツアーを展開する他、最近では飯森範親、原田慶太楼、宮川彬良など多彩な指揮者を客員に迎え、幅広いレパートリーを生かした活動を繰り広げている。2010年から東京都文京区との事業提携を皮切りに、各地の大学や自治体との提携を増やしており地域や教育機関と密着した活動を積極的に展開している。
CD・DVDも多数収録している。
公式HP　https://sienawind.com

サクソフォン

クラリネット

コントラバス

ユーフォニアム

ホルン

オーボエ

フルート

パーカッション

トロンボーン

トランペット

チューバ

ROSÉ CLASSIC CAFE vol.44

ロゼ・クラシックカフェ

西洋音楽史の扉

第八話　オペラの誕生〜イタリアの「魂」は、こうして生まれた

ルイ15世の皇太子婚礼の祝祭　ローマ・アルゼンティナ劇場（1747）《写真1》

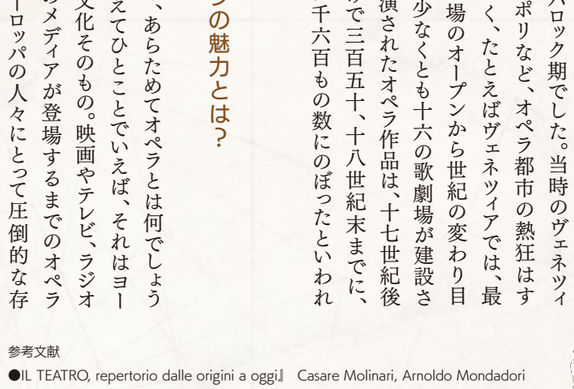
「西洋音楽＝クラシック音楽」。何となく、こんなふうに思っていませんか？クラシック音楽は、膨大な西洋音楽史のほんの一部にすぎません。人類史をひもとくと、つねに音楽は人類とともにありました。西洋史のなかにも、さまざまな音楽物語があります。今回は、イタリアが生んだヨーロッパ芸術の粋ともいえる「オペラ」誕生の物語です。

「オペラ」とは何か？

「オペラ」という言葉で、ほぼすべての人は、「西洋の歌劇」を思い浮かべると思います。ところが、その起源を辿ると、「歌劇」は「オペラ」という言葉のごく限られた意味のひとつにすぎないことがわかってきます。もともと「オペラ」とは、ラテン語で「作品」「仕事」を意味し、クラシック音楽の作品番号を表す「opus」と同じ語源をもつ言葉です。オペラの母国イタリアでは、いまも「オペラ」という言葉を単独で使うことはほとんどありません。たとえば、オペラ・ブッファ（滑稽な作品）、オペラ・リリカ（叙情的な作品）、オペラ・セリア（歴史的な作品）といったぐあいです。

王の威厳を高めるための「オペラ」

この絵《写真1》に描かれている豪華絢爛な祝典に、オペラというイタリアで生まれた総合芸術のひとつの典型があります。ここには庶民はひとりもいません。オペラは、かつては王侯貴族のためにつくられた「作品」だったのです。イタリアでは早くも十七世紀の初めから、オペラは政治の道具でもありました。つまり、君主や王室を映す鏡、公的なデモンストレーションの道具としてオペラが利用されたのです。あくまで宮廷の儀礼にのっとって上演は粛々と行われ、国王や王族がそれを鑑賞します。招かれた貴族たちはその華麗さに圧倒され、王の威厳はますます高まるという図式です。



17世紀のヴェネツィア《写真3》

ヴェルサイユ宮殿の祝祭『魅せられた島の悦楽』フィナーレ（1664）《写真2》

巨大なスペクタクルとしての「オペラ」

現代のように劇場でオペラが演じられることがあたりまえになると、オペラは舞台芸術と考えられがちですが、じつは、オペラは必ずしも劇場で演じられるものだけではありません。ときには、宮殿の庭園を巨大な舞台に仕立て、何千人もの職人が膨大な時間をかけて、たった一日だけ、もしくは数日に及ぶ壮麗な「作品」をつくりあげました。ルイ十四世が一六六四年にヴェルサイユ宮殿で催した『魅せられた島の悦楽』と題されたスペクタクルのフィナーレ《写真2》では、庭園の巨大な泉の中島に建てられた城もろとも莫大な花火で爆発させるという演出で、来賓者を驚かせたと伝えられています。このように権力者が莫大な費用をかけて野外で催す巨大なスペクタクルでもあった歴史を経て、オペラは徐々に市民層にまで浸透していくのです。

オペラ劇場の誕生とオペラ黄金時代

この画像《写真3》は、十七世紀のヴェネツィアです。世界最初のオペラ商業劇場が、アドリア海の女王と呼ばれたヴェネツィア共和国で開場したのは、一六三七年のこと。いまはオペラといえば、ロッシーニ、プッチーニ、ヴェルディなど、十九世紀のイタリア・オペラが主流ですが、じつは、オペラがもっとも繁栄した黄金時代と呼べるのは、バロック期でした。当時のヴェネツィアやナポリなど、オペラ都市の熱狂はすさまじく、たとえばヴェネツィアでは、最初の劇場のオープンから世紀の変わり目までに少なくとも十六の歌劇場が建設され、上演されたオペラ作品は、十七世紀後半だけで三百五十、十八世紀末までに、さらに千六百もの数にのぼったといわれます。

ヴェネツィア　フェニーチェ劇場　「不死鳥」の名をもつ代表的なオペラ劇場《写真4》

オペラの魅力とは？

では、あらためてオペラとは何でしょうか。あえてひとことでいえば、それはヨーロッパ文化そのもの。映画やテレビ、ラジオなどのメディアが登場するまでのオペラは、ヨーロッパの人々にとって圧倒的な存在感を持つメディアであり、エンターテイメントであり、娯楽と教養と社交と、それがなければ成立しない人々の生活とともにあったとすらいえるのです。人はなぜオペラに夢中になるのか。そこには、人生のすべてがあるから。愛があり、憎しみがあり、裏切りがあり、歓びがあり、涙がある。オペラとは、人間ドラマであるだけでなく、ヨーロッパの歴史と社会そのものがつくりあげた「作品」でもあるのです。

浦久俊彦

次回は、第九話「バロック音楽と歪んだ真珠　宮廷と職人と教会と」です。
お楽しみに！

参考文献
●IL TEATRO, repertorio dalle origini a oggi』 Casare Molinari, Arnoldo Mondadori Editor, 1982
●Dictionnaire Encyclopédique de la Musique, Univercité d'Oxford/Robert Laffont
●『大世界劇場』 R. アレヴィン／K. ゼルツレ　円子修平訳、法政大学出版局 1985

浦久俊彦（うらひさ としひこ）
文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団法人欧州日本藝術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』（講談社）、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『ベートーヴェンと日本人』（以上、新潮社）、『オーケストラに未来はあるか』（指揮者・山田和樹との共著アルテスパブリッシング）など。最新刊は『リベラルアーツ〜「遊び」を極めて賢者になる』（集英社インターナショナル）。

INFORMATION from ROSÉ THEATRE

ロゼシアターからのお知らせ

LINE 公式アカウントのお知らせ

公演情報や特別なキャンペーン情報をお届けします。

アカウント名:**ロゼシアター【イベント】**

アカウントID:**@093wgbne**

友だち追加方法

①ロゼシアターで検索

②LINEの友だち登録から「QRコード」または「ID検索」で**ロゼシアター【イベント】**を友だち追加

ふじ・紙のアートミュージアム

西村優子展

観覧無料

開催期間:2023.4/3(月)～6/18(日)

開館時間:10:00～18:00

休館日

4/17(月)、5/15(月)、6/12(月)

＊ロゼシアター休館日に休館

●最新情報は、ウェブサイト・facebookをご参照ください。

ふじ・紙のアートミュージアム

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町1750番地　富士市文化会館ロゼシアター内(1階東側奥)

TEL 0545-32-6581　FAX 0545-32-6582　http://www.fuji-paperart.jp

プレゼントのご案内

Aコース、Bコース、応募方法が異なります。

Aコース 公演チケット2組4名様

『めざましクラシックスin富士』

6月4日(日)　16:00開演

■応募方法:はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記し、下記アンケートにご回答のうえご応募ください。

① 情報誌を入手した方法または場所

② 情報誌で面白かった内容、ページ

③ 情報誌またはロゼシアターへのご意見・ご感想

■宛先:〒416-0953　富士市蓼原町1750番地

ロゼシアター「情報誌ロゼ123号」プレゼント係

■締切:4月14日(金)必着

Bコース タリーズ利用券

タリーズコーヒー富士市中央公園店

ドリンク券(2枚組1,000円相当)　2名様

■対象:ロゼシアターチケット購入システム「ロゼ・フレンドシップ」にインターネットからご自身で新規登録をされた方、または＜会員マイページ＞から登録更新手続きをされた方。

■応募方法:登録または更新時に＜郵便送付／郵便・宅配便等でのご案内＞項目の「可」をご選択ください。

■対象期間:毎月1日～月末／月1回抽選

※当選発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

※応募はお一人様1件まで。重複がある場合はすべて無効となります。

休館日のお知らせ

4月17日㊊

5月15日㊊

6月12日㊊

編集後記

1993年(平成5年)にオープンした富士市文化会館(ロゼシアター)は、今年で30周年を迎えます。開館してから1,200万人を超える方にご来館いただいています。

今年度も多くの皆さまにご来館いただけるように、魅力いっぱいの公演をいくつも予定していますので、是非ご来館ください。(なべ)

本誌は2月22日現在の情報です。最新情報はロゼシアターホームページ等でご確認ください。

■ホームページ https://rose-theatre.jp　■Twitter「ロゼシアター公式アカウント」@rose_staff_fuji　■YouTube「ロゼシアターチャンネル」　■LINE ロゼシアター【イベント】

FLASH BACK フラッシュ バック 2022.11～2023.1

終了したロゼシアター主催事業の様子をお届けします!2022年11月～2023年1月をフラッシュバック!!

佐渡裕指揮　シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会《ブラスの祭典2022》

11月17日(木)　19:00開演

●佐渡さんのユーモアのあるトークとシエナ・ウインド・オーケストラの奏でる軽やかなメロディーがとても心地よかったです。(50代女性)

●力強く温かい音楽に心洗われました。(20代女性)

●音の迫力に圧倒された。音色の豊富さや、音域の広さにも感動です。(60代男性)

が～まるちょば PLEASE PLEASE MIME

11月20日(日)　17:30開演

●私にしか見えない、私にしか聞こえない、私にしか感じられない世界、素晴らしかったです。(30代女性)

●感情の深い部分が揺り動かされる、唯一無二の舞台でした。(40代女性)

●いつの間にか引き込まれ、想像、創造の世界を楽しむことが出来た。(60代女性)

静岡県立美術館　移動美術展

11月19日(土)～27日(日)

●伊藤若冲の屏風作品が、複製でも近くで見ることができてうれしいです。(60代女性)

●フロアレクチャーに参加しました。わかりやすい説明と優しい語り口に楽しませていただきました。(60代女性)

旬の音楽 seasonal music collection ～その時季に聴きたい音楽、音色を～ Vol.1 細川千尋

12月15日(木)　19:00開演

●ジャズの楽しさがにじみ出るようなステキな演奏会でした。(70代女性)

●ソロながら聴き応えがあり、一曲残らず楽しめました。(30代男性)

●ピアノは「はかない」とか「優しい」というイメージがあったので、とても力強く激しくて驚きました。(30代女性)

〈共催〉富士山静岡交響楽団 新春ニューイヤーコンサート

1月22日(日)

14:30開演

指揮／高関健

ピアノ／松田華音　追加

〈共催〉反田恭平×務川慧悟 2台ピアノツアー2023

1月27日(金)

19:00開演

おでかけクラシック

加藤葵(オーボエ)、渡井綾(ヴァイオリン)

11月25日(金)　松の実保育園、モンテッソーリ保育園

12月19日(月)　するが幼稚園

川島祐子(フルート)、斎藤充子(ハープ)

12月3日(土)　くすの木学園

加藤葵　渡井綾

川島祐子　斎藤充子

おでかけ芸術教室

ALBOSトリオ

11月24日(木)　富士第一小学校

12月5日(月)　大渕第一小学校

加藤葵(オーボエ)、渡井綾(ヴァイオリン)

12月12日(月)　鷹岡小学校

1月18日(木)　富士川第一小学校

田内早紀(フルート)

1月25日(水)　青葉台小学校

2月8日(水)、10日(金)　丘小学校

ALBOSトリオ

田内早紀